

平成 29 年度
第 72 回国民体育大会栃木県予選会
大会要項(案)

- 1・大会名：第 72 回国民体育大会ライフル射撃競技栃木県予選会
2・主催：栃木県教育委員会・栃木県体育協会・栃木県ライフル射撃協会
3・主管：栃木県ライフル射撃協会
4・期 日：50m競技・10m競技 成年種別(SB・AR・AP) 少年種別(AR)

第1回目：平成 29 年 4月23日(日) 茨城県真壁射撃場
第2回目：平成 29 年 5月21日(日) 茨城県真壁射撃場
第3回目：平成 29 年 5月28日(日) 茨城県真壁射撃場
第4回目：平成 29 年 6月11日(日) 茨城県真壁射撃場 予備日

10m競技 少年種別(AR・BR・DP)

第1回目：平成 29 年 4月15日(土)～16日(日) 関東予選(真岡北陵高等学校ライフル射撃場)
第2回目：平成 29 年 5月 6日(土)～ 7日(日) 国体予選(真岡北陵高等学校ライフル射撃場)
第3回目：平成 29 年 6月 3日(土)～ 4日(日) 全国予選(真岡北陵高等学校ライフル射撃場)

CP競技 成年種別 警察学校 射撃場

※ 予備日(補)は、予選3回の成績により代表選手を選考するが、3回目までの予選会で規定の参加回数に満たなかった選手に対する補足予選会とする。

救済：勤務等で予選会に参加できない選手、また各予選会と同日に開催される中央競技会に参加する選手(ふるさと選手含む)は、予め強化部へ連絡の上別途競技会の記録を予選会の成績とすることができる。その際、必ずどの競技会に参加するか事前に連絡し了解を得ること。また、栃ラ予選会の記録登録料(500円)を納める事。

※12・選手選考⑤⑥⑦参照

- 5・会 場：大内農業構造改善センター・県警察学校射撃場・茨城県真壁射撃場・県立真岡北陵高校射撃場
6・時 間：集合時間 9:00 受付 9:00～9:30
競技開始時間 10:00 時間厳守
7・種 目：各種目の基準点(ポイント)は以下の通りである。

① 50m3×40M (3×20) 1,136 (568点)	② 50m3×20W (561点)	
③ 50mP60M (613.1点)	④ AP60M (558点)	⑤ AP40W (365点)
⑥ 10mS40W (406.0点)	⑦ 10mS60JM (604.0点)	
⑧ BRS60JM (623.0点)	⑩ BRS40JW (416.0点)	
⑪ DP40JM (355点)	⑫ DP40JW (348点)	ブロック種目
※①の3×40M種目については、3×20で実施する。 10mP60M (626.3点)参考種目		
① 10mS40JW (404.0点)	② 10mS60M (612.0点)	③ CP60M (570点) スタート種目

- 8・競技規則：各種目共、日本公式ライフル射撃競技規則を適用する。

- 9・参加資格：・現在公安委員会の許可を受けて銃砲を所持している下記の者
(但し、ビームライフル射撃に参加する者はその限りではない)
・栃木県内に居住又は勤務している者
・大学を除く学校教育法第1条に規定する学校の生徒
・大学生にあつては、栃木県内の高等学校の卒業生
・その他、第 72 回国民体育大会ライフル射撃競技実施要項による

- 10・参加申込：運営上5日前迄に事務局まで申し込みください。
※郵送かメール又はFAXにてお願いします
mail:base-gf@tochi-ra.jp Fax:028-636-9917

- 11・参加料：SFR=3,000 AR(成年)及び AP =2,000 AR(少年)=1,500
BR(少年)=1,000 DP(BP)=1,000 CP=1,000
予備日説明で前記の通り、成績登録料は、500円
注：必ず、重複する競技会の、前に届け出ること。後提出は、無効。

- 12・選手選考：①成年・少年とも、下記基準点をクリアした選手に1ポイントを与えポイントの多い選手を国体代表候補選手とする。
②ARP60・ARS60の種目において、Pでポイントを取得した選手とSでポイントを取得した選手が、同ポイントの場合は、Sを優先とする。
③各種目とも3回の予選会において、同種目、同ポイント及びだれもポイントを取得できなかった場合は、強化部に於いて 関プロ及び国体の代表候補選手を選考する。
④少年選手の選考については、平成29年度の高校部会主催競技会の成績等を予選成績とすることができる。
⑤各種目とも3回の予選会に参加する事。但し、事故・病气入院・会社勤務の都合上やむをえない事情により規定回数に満たない選手は、予備大会の記録を充填し規定回数の3回とする事ができる。
⑥予選日が、県外大会と重なる場合、又職務都合により予備大会を充てても3回に満たないことが予想される選手は、事前にどの競技会に出場するかを強化部長へ届けその成績を予選会成績とする事ができる。
⑦⑥に該当する競技会は、県外大会、中央大会と同等の競技会をさす。

- 13・強化選手：第2回目の予選会終了後それまでの成績を参考に今年度の強化選手を選出する。また、予選会・予備日終了後に、強化選手及び関東ブロック選手を12・選手選考の内容をもとに選出し、後日各会員並びに選手に通知発表する。

- 14・その他：①銃器弾薬の携帯・運搬・保管等については、各自十分注意する。
②選手は、銃砲所持許可証及び射手手帳を必ず持参する。
③公認審判員は、是非とも役員としてお手伝い方願います。
④参加選手各自、ゼッケン(A4)を着用すること。